



教育長再任

9月の町議会において、増淵忍教育長の再任が同意されました。
2期目の任期は令和7年11月10日から令和10年11月9日までの3年間です。

教育長として2期目を拝し、改めて身の引き締まる思いです。
子どもたちの未来を見据えるとともに、子どもから大人まで、
すべての人がいきいきと学び続けることのできる教育行政に
取り組んで参ります。



民生委員・児童委員活動功績で表彰

10月16日、第35回栃木県民生委員児童委員大会において、下記の方々が栃木県民生委員児童委員協議会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。



優良民生委員児童委員協議会表彰

上三川町民生委員児童委員協議会

自主的・計画的な運営により、活動実績をあげている民生委員児童委員協議会に贈られます。協議会を代表して、会長の田口 成子さんが受け取られました。



民生委員・児童委員表彰

高橋 直人 さん

7年以上にわたり積極的に民生委員活動を行い、地域のために貢献されています。

令和7年度戦没者追悼式が挙行されました

10月2日、上三川町ORIGAMIプラザで行われた追悼式では、若くして犠牲となった尊い命を想いながら、戦後80年という節目に、遺族など関係者が参列し、上三川町の戦没者774柱の碑を前に献花等を行いました。

その尊い命と引き換えに今日の平和があり、戦争の悲劇とその代償の重さを忘れることなく、次世代に語り継ぐことこそ、私たちに課せられた責務であることを改めて思う追悼式となりました。





「かみマル大収穫祭 地域の恵みと笑顔の祭典 2025秋」 ～上三川・とちぎの魅力発信基地！～

11月1日・2日の2日間、ジョイフル本田宇都宮店(共催 上三川町)において「かみマル大収穫祭 地域の恵みと笑顔の祭典 2025秋」が開催されました。

6回目の開催となった今回は、町産の新米をメインにさまざまな商品が店頭に並びました。

上三川高校生プロジェクトは、地元の農産物を賞品とした射的で会場を盛り上げました。



秋の交通安全県民総ぐるみ運動

9月21日から30日までの10日間、秋の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されました。

運動期間中には、交通安全関係団体や下野市、下野警察署と連携した合同啓発活動が行われました。各地区での街頭指導や町内施設における啓発品配布等を通して、交通安全意識を持つことの重要性を伝えました。

また、12月11日から31日まで「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」が実施されます。期間中には、反射材などの交通安全啓発品の配布を行います。地域生活課の窓口でも配布していますので、日頃から身に付ける習慣をつけ、交通事故から自分の身を守りましょう。



【町内施設における啓発品配布の様子】



【各地区における街頭指導の様子】



高齢者・障がい者スポーツ大会

10月24日、「第43回高齢者・障がい者スポーツ大会」が富士山公園グラウンドで開催されました。

このイベントは、健康増進や相互の親睦を目的として行われています。

町内のシニアクラブ等30チーム約500名が、お掃除競争など6つの種目に参加し、笑顔で元気に競技に取り組む参加者の姿が見られました。



フェスタinかみのかわ

10月26日、上三川いきいきプラザ多目的広場で「フェスタinかみのかわ2025」が開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、ハロウィンコスプレ仮装大会やステージイベント、よさこい流し踊りなどが披露され、会場は盛り上がりました。

また、イベントの最後には大輪の花火が打ち上がり、秋の夜空を彩りました。



ギネス世界記録に挑戦

10月24日～25日、「いちょうの折り紙で作る最大の展示」でギネス世界記録への挑戦を行いました。

当日は、ORIGAMIプラザにおいて、町内外よりたくさんの方が参加。全員が力を合わせ、決められたルールのもとで記録に挑みました。

町民の皆さまの協力と熱意により、たくさんのいちょうの折り紙を準備することができ、その結果、「いちょうの折り紙で作る最大の展示」として、12,180枚でギネス世界記録に認定されました。

ご協力いただいた皆さま、応援して下さった皆さまに心より感謝申し上げます。





上三川町文化祭

10月17～19日、第61回上三川町文化祭が上三川いきいきプラザとORIGAMIプラザで開催されました。

18日には開会式が行われ、大洗町芸術文化協会磯節保存会による演舞やしらすぎ幼稚園鼓笛隊によるマーチングバンドが披露されました。展示物のコーナーでは、書道や陶芸、華道などの作品が数多く並びました。ご来場された皆様ありがとうございました。



150年の歴史を誇る坂上小学校

10月24日、坂上小学校で「創立150周年記念式典及び記念講演会」が開催されました。

当校は、明治8年6月12日に教化学舎として坂上神社（現在の星の宮神社）境内に開校しました。先代より自然豊かな環境が守られてきたおかげで、現在は「緑と花と小鳥の学校」の愛称で親しまれ、緑化に関わる数々のコンクールで入賞を果たしています。

記念講演会では、坂上小出身であり、真岡落語研究会に所属する夢見亭 永楽さんゆめ みてい えいらくによる「落語」の披露。そして音楽鑑賞会では、アンサンブル・ジュウニールによる弦楽器の演奏が披露され、児童たちの笑い声や美しい音色が会場に響き渡りました。

